

平成 29 年度

事 業 報 告

平成 30 年

平成 29 年度事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催
2. 官公庁への届出
3. 寄附受領
4. 設備投資等
5. 諸制度の整備・改定等
6. 国登録有形文化財(建造物)の登録
7. その他

II. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業(公益目的事業①)

1. 展示事業
2. 調査・研究・保存事業
3. 普及事業

[2] 大東急記念文庫事業(公益目的事業②)

◆収支決算等

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 附属明細書
4. 監査報告書

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

<第98回理事会>

平成29年6月7日午前11時より第98回理事会を五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算等について

第2号議案 理事候補者の選任並びに推薦について

第3号議案 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部変更について

第4号議案 定時評議員会の招集について

<第94回評議員会>

平成29年6月22日午前11時より第94回評議員会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 評議員会長の選出について

第2号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算等について

第3号議案 理事の選任について

第4号議案 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部変更について

<第99回理事会(臨時)>

平成29年6月22日正午より第99回理事会(臨時)を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 代表理事(理事長)の選定について

<第100回理事会>

平成30年3月13日午前11時より第100回理事会を五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成30年度事業計画書ならびに収支予算書等について

第2号議案 評議員会の開催および招集について

<第95回評議員会>

平成30年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、平成30年3月22日付にて、第95回評議員会として同案を可決した。

審議事項 平成30年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認について

2. 官公庁への届出

・平成29年6月26日 役員変更登記 世田谷区法務局

- ・平成 29 年 6 月 30 日 平成 28 年度事業報告ならびに計算書類等の提出……………内閣府
- ・平成 30 年 3 月 23 日 平成 30 年度事業計画書ならびに収支予算書等の提出……………内閣府

3. 寄附受領

＜寄附金＞

平成 29 年 5 月 25 日

- ・東京急行電鉄共済組合……………132,000,000 円

※132,000,000 円全額を一般正味財産として受入れ

4. 設備投資等

- ・高野切古今和歌集(第二種)(蔵品管理番号 08-003)保存修理

＜実施内容＞

高野切古今和歌集(第二種) 一幅 保存修理 2,221,542 円(消費税別)

＜実施内容＞

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

- ・本館機械室洗面台設置工事

＜実施内容＞

本館機械室洗面台新設 1,386,000 円(消費税別)

＜実施時期＞

平成 29 年 8 月 2 日～4 日

- ・本館収蔵庫・防塵防黴施工

＜実施内容＞

美術館収蔵庫・防塵防黴施工(IPM) 778,700 円(消費税別)

＜実施時期＞

平成 29 年 8 月 3 日～4 日・8 日～10 日

- ・別館空調改修工事

＜実施内容＞

会長室 PAC 更新工事 2,600,000 円(消費税別)

講堂 AHU 温湿度計移設工事 347,000 円(消費税別)

合 計 2,947,000 円(消費税別)

＜実施時期＞

平成 29 年 8 月 8 日～24 日

- ・本館閲覧室ガラスサッシ防音工事

＜実施内容＞

本館閲覧室ガラスサッシ増設 736,000 円(消費税別)

＜実施時期＞

平成 29 年 9 月 5 日～7 日

- ・狭角ズームスポットライト購入

＜実施内容＞

展示室・狭角ズームスポットライト購入 2,046,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 9 月 8 日

・古経楼修繕工事

<実施内容>

古経楼・寄付地板・雨戸修繕 160,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 9 月 22 日

・トランシーバー(インカム)更新

<実施内容>

トランシーバー(インカム)更新(10 台) 130,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 9 月 29 日

・祥瑞蜜柑形水指(蔵品管理番号 02-101)修理

<実施内容>

祥瑞蜜柑形水指修理 700,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 9 月 30 日～平成 30 年 1 月 31 日

・古経楼・富士見亭の畳新調

<実施内容>

古経楼・富士見亭の畳新調 824,150 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 10 月 4 日

・本館来館者誘導設備新設工事

<実施内容>

本館正面階段手摺新設 739,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 29 年 10 月 16 日～19 日

・収蔵品管理システム開発

<実施内容>

デジタルアーカイブ対応システム開発 2,250,000 円(消費税別)

<実施時期>

平成 30 年 3 月 1 日

以上、設備投資等合計金額 14,918,392 円(消費税別) ※

※ 一部は経費計上

5. 諸制度の整備・改定等

・業務執行規程の制定(平成 29 年 6 月 1 日)

・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改定(平成 29 年 6 月 22 日)

6. 国登録有形文化財(建造物)の登録

文化財保護法第 57 条第 1 項の規定に基づき、平成 29 年 10 月 27 日付をもって、「五島美術館本館」・茶室「富士見亭」・茶室「古経楼」が、国の登録有形文化財に登録された。

登録番号 第 13-0386 号 五島美術館 本館 一棟

登録番号 第 13-0387 号 五島美術館 富士見亭 一棟

登録番号 第 13-0388 号 五島美術館 古経楼 一棟

7. その他

・美術館館蔵展の告知強化

美術館の館蔵展6企画のチラシ新設と主要な美術館・博物館、東急グループ施設等への設置開始

(平成 29 年 4 月開催の館蔵「春の優品展」から実施)

・「特殊文庫連合協議会」の解散

会員(16 文庫)の同意により活動休止中の同協議会の解散ならびに精算手続きを完了
(平成 29 年 10 月 31 日解散)

・美術館巡回バス「せたがや3館めぐる一ふ」運行開始

五島美術館、静嘉堂文庫美術館、世田谷美術館を巡回する東急バスの新路線開設
(平成 30 年 1 月 20 日運行開始)

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

1-1. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—歌仙と歌枕—〈平成29年4月1日[土]—5月7日[日]〉	8,079	629	8,708	365	9,073	32	284
2 [館蔵]近代の日本画展〈5月13日[土]—6月18日[日]〉	7,584	501	8,085	236	8,321	32	260
3 [館蔵]夏の優品展—料紙のよそおい—〈6月24日[土]—7月30日[日]〉	4,982	725	5,707	148	5,855	32	183
4 [館蔵]秋の優品展—大般若経と禅宗—〈8月26日[土]—10月15日[日]〉	6,618	580	7,198	317	7,515	44	171
5 [特別展]光彩の巧み—瑠璃・玻璃・七宝—〈10月21日[土]—12月3日[日]〉	13,200	1,442	14,642	657	15,299	38	403
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12月9日[土]—平成30年2月18日[日]〉	8,141	792	8,933	203	9,136	53	172
7 [館蔵]中国の陶芸展〈平成30年2月24日[土]—3月25日[日]〉	4,630	397	5,027	198	5,225	26	201
8 [館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—〈平成30年3月31日[土]—〉 ※平成30年度企画	230	5	235	4	239	1	239
合計	53,464	5,071	58,535	2,128	60,663	258	235

1-2. 特別展

[特別展]光彩の巧み—瑠璃・玻璃・七宝—

・期間＝平成29年10月21日[土]—12月 3日[日]

・特別鑑賞会・レセプション＝平成29年10月20日[金]……………出席者100名

・講演会＝平成29年10月22日[日] 中野徹氏(元和泉市久保惣記念美術館館長)

「中国の金属器と塗漆・彩画・象嵌」……………聴講者24名

・講演会＝平成29年11月4日[土] 小川幹生氏(元名古屋博物館学芸員)

「七宝の展開をたどる」……………聴講者100名

・講演会＝平成29年11月25日[土] 柴田明氏(株式会社 安藤七宝店 工場長)

「七宝との対話」……………聴講者184名

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

・特別展および企画展に際して、館内及び館外収蔵作品の調査を行った。

・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。

- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「高野切古今和歌集(第二種)」と「祥瑞蜜柑形水指」については、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、修理を行った。平成 29 年度は、本修理に 2,921,542 円を費やした。
- (2) 収蔵庫の保存環境改善のため総合的な除塵防黴施工(IPM)をした。

2-3. 出版物

- (1) 『光彩の巧み—瑠璃・玻璃・七宝—』
 - ・判型=A4 判 ・発行日=平成 29 年 10 月 20 日 ・編集=五島美術館・大東急記念文庫学芸部
 - ・発行=公益財団法人五島美術館 ・頁数=142 頁(カラー132 頁、図版 100 点所収)
- (2) 『五島美術館研究紀要』第 6 号
 - ・判型=A4 判 ・発行日=平成 30 年 3 月 31 日 ・編集=五島美術館・大東急記念文庫学芸部
 - ・発行=公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- サントリー美術館……………重要文化財「前九年合戦絵巻断簡 帰順願図」／計 1 件
「絵巻マニア列伝」(期間=平成 29 年 3 月 29 日～5 月 14 日)
- 東京国立博物館……………重要文化財「梅花小禽図 伝 馬麟筆」／他計 6 件
「茶の湯展」(期間=平成 29 年 4 月 11 日～6 月 4 日)
- 九州国立博物館・東京国立博物館……………「南蛮砂張棒の先水指」／計 1 件
「タイ ～仏の国の輝き～」(期間=平成 29 年 4 月 11 日～8 月 27 日)
- 徳川美術館 名古屋市蓬左文庫
……………重要文化財「久能寺経 法華経序品巻第一 ・法師功德品巻第十九」／他計 2 件
「金と銀の国 ジパング—輝きときらめきの美術—」(期間=平成 29 年 4 月 15 日～5 月 28 日)
- サントリー美術館……………「松竹蒔絵手箱」／計 1 件
「六本木開館 10 周年記念展「神の宝の玉手箱」」(期間=平成 29 年 5 月 31 日～7 月 17 日)
- 岐阜市歴史博物館……………国宝「古林清茂墨跡 餞別偈」／他計 4 件
「Gifu 信長展—もてなし人信長!?知られざる素顔—」
(期間=平成 29 年 7 月 14 日～8 月 20 日)
- 島根県立美術館……………「緑雨 小茂田青樹筆」／他計 2 件
「小茂田青樹展」(期間=平成 29 年 7 月 14 日～8 月 28 日)
- 奈良国立博物館……………重要文化財「沙門地獄草紙断簡(益田家本甲巻) 火象地獄図」／他計 2 件
「1000 年忌特別展 源信 地獄・極楽への扉」(期間=平成 29 年 7 月 15 日～9 月 3 日)
- 九州国立博物館……………「黒織部杳形茶碗 銘 わらや」／計 1 件
「新・桃山展—大航海時代の日本美術」(期間=平成 29 年 10 月 14 日～11 月 26 日)

和泉市久保惣記念美術館	重要文化財「駿牛図断簡」／他計 4 件 「ピカソと日本美術展」(期間＝平成 29 年 10 月 15 日～12 月 3 日)
アーツ前橋	「大沢竹胎 「子」」／他計 3 件 「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」 (期間＝平成 29 年 10 月 20 日～平成 30 年 1 月 16 日)
九州国立博物館	重要文化財「高野切古今和歌集(第一種) 伝 紀貫之筆」／計 1 件 「王義之と日本の書」(期間＝平成 30 年 2 月 10 日～4 月 8 日)
サントリー美術館	「瀬戸瓢形茶入 銘 春慶瓢箪」／他計 3 件 「寛永の雅」(期間＝平成 30 年 2 月 14 日～4 月 8 日)
計 9ヶ所 31 件	

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成 29 年度は 153 件のべ 276 点)。

3. 普及事業

3-1. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)―入館者を対象にして実施

・[館蔵]春の優品展―歌仙と歌枕―

「和歌の書」 平成 29 年 4 月 6 日(別館講堂)	参加者 84 名
「歌仙と歌枕」 平成 29 年 4 月 21 日(別館講堂)	84 名
「源氏物語絵巻について」 平成 29 年 4 月 29 日、5 月 2 日、7 日(別館講堂)	計 550 名

・[館蔵]近代の日本画展

「近代日本画の世界」 平成 29 年 5 月 18 日、6 月 15 日(別館講堂)	計 179 名
「近代書家の書」 平成 29 年 6 月 1 日(別館講堂)	39 名

・[館蔵]夏の優品展―料紙のよそおい―

「日本・中国の紙の歴史」 平成 29 年 6 月 28 日(別館講堂)	112 名
「表具のよそおい」 平成 29 年 6 月 30 日(別館講堂)	90 名
「雲紙と飛雲」 平成 29 年 7 月 13 日(別館講堂)	132 名
「古書のよそおい」 平成 29 年 7 月 20 日(別館講堂)	115 名

・[館蔵]秋の優品展―大般若経と禅宗―

「古写経に見る手業」 平成 29 年 8 月 31 日(別館講堂)	38 名
「奈良時代の写経活動」 平成 29 年 9 月 14 日(別館講堂)	54 名
「日本の陶芸について」 平成 29 年 9 月 15 日(別館講堂)	53 名
「鎌倉時代の書」 平成 29 年 9 月 26 日(別館講堂)	57 名
「秋の優品展について」 平成 29 年 9 月 29 日(別館講堂)	37 名
「紫式部日記絵巻について」 平成 29 年 10 月 11 日、10 月 15 日(別館講堂)	計 274 名

・[特別展]光彩の巧み―瑠璃・玻璃・七宝―

「熔かして満たす瑠璃の花」 平成 29 年 10 月 27 日、11 月 10 日(別館講堂)	計 170 名
---	---------

・[館蔵]茶道具取合せ展

「茶道具取合せ展について」平成29年12月15日、平成30年1月19日(別館講堂)

.....計117名

「名物裂」平成29年12月21日(別館講堂).....70名

「古経楼と茶の湯」平成30年1月12日、2月2日(別館講堂).....計61名

「茶道具を包む裂」平成30年1月31日(別館講堂).....115名

・[館蔵]中国の陶芸展

「中国陶磁について」平成30年2月28日、3月22日(別館講堂).....計133名

計7回の展示で29回実施 [のべ] 2,564名参加

(2) 講演会—入館者を対象にして実施

・[館蔵]秋の優品展—大般若経と禅宗—

平成29年9月5日[火] 横田南嶺老師(臨済宗円覚寺派管長)

「大般若経について」.....聴講者117名

平成29年10月5日[木] 川口高風氏(愛知学院大学教授)

「曹洞禅の祈禱と大般若経」.....聴講者99名

(3) 体験講座—入館者を対象にして実施

・[館蔵]夏の優品展—料紙のよそおい—

平成29年7月16日[日]、17日[祝] 計4回 参加費=1,000円 予約制

「雲紙料紙の制作」(見晴荘(第二講堂)).....参加者計65名

協力=福井県和紙工業協同組合・世田谷区教育委員会

(4) 青少年向け普及講座

①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

「和歌とかな文字」平成29年4月16日(本館集会室).....計5名[こども3/大人2]

「王朝絵巻の世界」平成29年5月5日(本館集会室).....計12名[こども4/大人8]

「日本画を知ろう」平成29年6月4日(本館集会室).....計12名[こども6/大人6]

「キラ刷りを楽しもう」平成29年7月23日(本館集会室).....計14名[こども7/大人7]

「かなを書くための紙とは」平成29年7月30日(本館集会室).....計8名[こども4/大人4]

「王朝絵巻の世界」平成29年10月9日(本館集会室).....計7名[こども2/大人5]

計6回実施 [のべ] 計58名 こども26名 大人32名参加

②東京急行電鉄株式会社主催「とうきゅうキッズプログラム」

平成29年12月17日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(別館講堂・茶室).....参加者18名

③小学校へ出張講義

・東久留米市立第7小学校

平成29年10月28日「日本絵画について」.....6年生約100名

・世田谷区立船橋小学校

平成30年2月16日「日本絵画について」.....6年生約130名

(5) 団体見学および団体説明会

[館蔵]春の優品展—歌仙と歌枕—	計 5 団体・計 163 名
[館蔵]近代の日本画展	計 5 団体・計 133 名
[館蔵]夏の優品展—料紙のよそおい—	計 2 団体・計 53 名
[館蔵]秋の優品展—大般若経と禅宗—	計 2 団体・計 67 名
[特別展]光彩の巧み—瑠璃・玻璃・七宝—	計 3 団体・計 66 名
[館蔵]中国の陶芸展	計 5 団体・計 139 名
総計=22 団体・621 名	

(6) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

・クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会＝平成 29 年 7 月 6 日[木]

1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔（敬称略）

プログラム：モーツァルト 弦楽四重奏曲第 22 番 変ロ長調 K.589「プロシヤ王第 2 番」

シューベルト 弦楽四重奏曲第 12 番 ハ短調 D703「四重奏断章」

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第 15 番 イ短調 Op.132

入場料＝3,500 円（友の会会員 3,000 円） 予約制…………… 参加者 190 名

・長唄演奏会—和のこころを聴く＝平成 29 年 9 月 21 日[木]

三味線＝杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉／唄＝杵屋六響、東音 半田昌恵、芳村伊四妙、芳村伊四紗栄／囃子＝望月秀幸、望月左太寿郎、仙波貴之／笛＝福原寛（敬称略）

プログラム：雨の四季 喜三の庭 紀州道成寺

入場料＝3,500 円（友の会会員 3,000 円） 予約制…………… 参加者 151 名

(7) 茶室特別公開—入館者を対象にして実施

公開日＝平成 29 年 5 月 19 日[金]、平成 30 年 2 月 1 日[木]

普段は公開を制限している茶室（古経楼・富士見亭）を特別公開、解説及び呈茶を行った。

(8) 特別閲覧

- ・徳富孔一氏（1 名：平成 29 年 6 月 30 日）……………伝 持田古墳群出土 方格規矩八乳鏡 計 1 件
- ・元興寺文化財研究所（1 名：29 年 7 月 14 日）……………画紋帯仏獣鏡 鶴巻塚古墳出土 計 1 件
- ・岩本 崇 氏（1 名：平成 29 年 7 月 26 日・27 日・28 日）……………変形六乳五鈴鏡他 計 19 件
- ・小林桂子氏（1 名：平成 29 年 10 月 31 日）……………菱繫ぎ花幾何学文経緯緋（パトラ）他 計 9 件
- ・神奈川大学（1 名：平成 29 年 11 月 29 日）……………名物裂手鑑他 計 4 件
- ・車崎正彦氏他（3 名：平成 29 年 12 月 12 日）……………環状乳系神獣鏡他 計 12 件
- ・福岡市美術館（1 名：平成 29 年 12 月 12 日）……………更紗手鑑他 計 4 件
- ・白鶴美術館（1 名：平成 29 年 12 月 22 日）……………迦陵頻伽紋葵花形鏡他 計 3 件
- ・大和文華館（1 名：平成 30 年 3 月 21 日）……………銅製銀象嵌蒲柳水禽文淨瓶 計 1 件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成30年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数=486名(平成30年3月31日現在)
- ・年会費=4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1~3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の収蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

開催回数 30回 聴講者数 計のべ2,201名

・書跡鑑賞シリーズⅦ「12世紀の古筆2」 担当=五島美術館副館長 名児耶 明

第1回	平成29年	4月	1日[土]	「卷子本古今集」	聴講者 103名
第2回		5月	6日[土]	「砂子切」	83名
第3回		6月	3日[土]	「堺色紙」	84名
第4回		7月	1日[土]	「安宅切」	90名
第5回		9月	2日[土]	「久松切」	85名
第6回		10月	7日[土]	「多賀切」	71名
第7回		12月	2日[土]	「今城切」	76名
第8回	平成30年	1月	6日[土]	「仁和寺切」	88名
第9回		2月	3日[土]	「五首切」	79名
第10回		3月	3日[土]	「昭和切」	72名

・工芸鑑賞シリーズⅡ「工芸史拾い歩き—瑠璃・玻璃・七宝編」

担当=五島美術館学芸部 福島 修

第1回	平成29年	4月	8日[土]	「貴石信仰と象嵌のわざ」	聴講者 47名
第2回		5月	13日[土]	「溶着される耀き」	16名
第3回		6月	10日[土]	「東洋のガラスと景泰藍」	42名
第4回		7月	8日[土]	「七宝展開の空白」	37名
第5回		9月	9日[土]	「調度と装身具」	42名

・染織鑑賞シリーズXI「名物裂を楽しむ—『雅游漫録』の世界」

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第20回 平成29年 4月 9日[日] 「名物裂の見分け方と鑑賞②」……………聴講者 54名

※前年度平成29年3月25日の振替

・染織鑑賞シリーズXII「茶会記と染織」

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第1回 平成29年 4月15日[土] 「松屋会記①」……………聴講者 87名

第2回 5月20日[土] 「松屋会記②」……………76名

第3回 6月17日[土] 「松屋会記③」……………82名

第4回 7月15日[土] 「天王寺屋会記①」……………92名

第5回 9月16日[土] 「天王寺屋会記②」……………76名

第6回 12月16日[土] 「天王寺屋会記③」……………69名

第7回 平成30年 1月20日[土] 「宗湛日記①」……………76名

第8回 2月17日[土] 「宗湛日記②」……………77名

第9回 3月24日[土] 「宗湛日記③」……………74名

・陶磁鑑賞シリーズVI「茶匠の好み道具」

担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第1回 平成29年10月14日[土] 「珠光・武野紹鷗」……………聴講者 83名

第2回 12月 9日[土] 「千利休」……………100名

第3回 平成30年 1月13日[土] 「古田織部」……………79名

第4回 2月10日[土] 「小堀遠州」……………91名

第5回 3月10日[土] 「松平不昧」……………70名

(2) 陶芸教室—美の友会員を対象にして実施

*指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館見晴荘(第二講堂)において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

・第1回＝平成29年5月27日・28日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………参加者計 52名

・第2回＝平成29年9月23日・24日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 51名

・第3回＝平成30年1月27日・28日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 46名

総計＝149名

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から3月31日まで有効)

・会員数＝1,500名

・会 費＝5,000円

・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

・特別展の講演会を無料で聴講可能。

・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。

・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

・第1回秋季茶会＝平成29年11月16日、17日、18日、19日(4日間) …… 参加者計740名

・第2回春季茶会＝平成30年3月15日、16日、17日、18日(4日間) …… 参加者計794名

* 上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。 総計＝1,534名

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

・「技と美—秋の三館 美をめぐる2017—」

三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 3館合同キャンペーン(平成25年度より継続実施)。

「光彩の巧み—瑠璃・玻璃・七宝—」(10月21日～12月3日)の会期中、対象展覧会(三井記念美術館特別展「驚異の超絶技巧!—明治工芸から現代アートへ—」、根津美術館特別展「鑿の華—光村コレクションの刀装具—」)の入館済み半券で他2館の入館料100円割引、3館の入館済み半券でいずれか1館の次回展覧会に無料招待する。平成29年度、当館における割引利用入館者は228名、次回展の来館者は36名。

・Bunkamura とのタイアップ

東急文化村が運営するMY Bunkamura 登録者(約39万人)を対象にメールマガジン等を通じてタイアップ企画を実施し、展覧会の告知と集客促進を図った。

① MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈近代の日本画〉プレゼント」

応募期間 平成29年5月11日～平成29年5月21日 …… 応募者193名／当選者10名

② MY Bunkamura タイアップ企画「一筆箋〈石山切〉プレゼント」

応募期間 平成29年6月28日～7月11日 …… 応募者193名／当選者20名

③ MY Bunkamura タイアップ企画「ジグソーパズル〈国宝 紫式部日記絵巻〉プレゼント」

応募期間 平成29年9月12日～9月25日 …… 応募者296名／当選者10名

④ MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈光彩の巧み展〉プレゼント」

応募期間 平成29年10月19日～11月1日 …… 応募者225名／当選者10名

⑤ MY Bunkamura タイアップ企画「ミニポーチ〈茶道具柄〉プレゼント」

応募期間 平成29年12月5日～12月18日 …… 応募者457名／当選者10名

⑥ MY Bunkamura タイアップ企画「〈中国の陶芸展〉ポストカードセット プレゼント」

応募期間 平成30年1月30日～2月12日 …… 応募者116名／当選者10名

⑦ MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈国宝源氏物語絵巻〉プレゼント」

応募期間 平成30年3月20日～4月2日 …… 応募者288名／当選者2名

(2) 近隣館との連携事業

・美術館巡回バス「せたがや3館めぐる一ふ」運行

近隣の美術館の回遊性を高めるため、東急バス株式会社に対し、五島美術館、静嘉堂文庫美術館、世田谷美術館の三館館長連名によるバス路線開設の要望書を提出した。その後の協議

を経て、平成 30 年 1 月 20 日より二子玉川エリアの美術館(五島美術館・静嘉堂文庫美術館・世田谷美術館)を巡る「せたがや3館めぐる一ふ」の運行が開始された。

運行期間＝平成 30 年 1 月 20 日～12 月 9 日の土曜・休日(美術館3館同時開館日のみ運行)

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を継続して実施(平成 28 年 8 月 27 日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から 200 円を割引く。平成 29 年度、当館における割引利用入館者は 101 名。

・世田谷美術館 相互割引提携

平成 29 年 4 月 1 日より、世田谷美術館との相互割引を実施した。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則 200 円引き)に割引く。平成 29 年度、当館における割引利用入館者は 34 名。

(3) 東急グループとの連携事業

・特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」

平成 29 年 4 月 24 日 特別鑑賞会他(本館展示室・茶室・庭園)……………参加者 110 名

・東京急行電鉄株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別貸切鑑賞会

特別展示[国宝]源氏物語絵巻

平成 29 年 5 月 5 日 解説(集会室)・特別鑑賞(第 2 展示室)……………参加者 11 名

特別展示[国宝]紫式部日記絵巻

平成 29 年 10 月 9 日 解説(集会室)・特別鑑賞(第 1 展示室)……………参加者 16 名

・とうきゅうキッズプログラム「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」

平成 29 年 12 月 17 日……………参加者 18 名

・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ vol.2〈見て・飲んで・おいしいお茶の世界〉」

平成 30 年 2 月 18 日 展示解説(集会室)……………参加者 37 名

・東急セミナーBE 特別講座

平成 29 年 4 月 30 日 講義(BE 講師:田園調布学園大学非常勤講師 神田久義氏)および
展示解説(集会室)……………参加者 24 名

・東京急行電鉄株式会社・世田谷区主催「世田谷まち歩き Book スタンプラリー」

平成 29 年 4 月 8 日～7 月 1 日、東京急行電鉄・世田谷区主催「世田谷まち歩き Book スタンプラリー」に協力した。スタンプ帳「世田谷区まち歩き Book」(駅等にて無料配布)提示で一般入館料 100 円割引、参加者への賞品を提供。割引利用入館者は 8 名。

(4) 大学との連携事業

・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、

共立女子大学との連携事業を実施。平成 29 年度は、平成 28 年度から継続して「金屏風収納袋の修理検討・制作」を行った。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第 1 条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(団体研修 3 大学のべ 235 名、実習生 4 大学 4 名)。

・期日＝平成 29 年 5 月 13 日・10 月 14 日

実習生＝立教大学博物館実習生(団体研修)……………計 61 名

・期日＝平成 29 年 6 月 10 日・24 日・11 月 25 日・12 月 16 日

実習生＝東京学芸大学博物館実習生(団体研修)……………計 102 名

・期日＝平成 29 年 9 月 6 日・8 日・9 日

実習生＝慶應義塾大学博物館実習生(団体研修)……………計 72 名

・期間＝平成 29 年 11 月 8 日(水)～21 日(火) 計 12 日間

実習生＝日本女子大学 文学部 史学科……………1 名

実践女子大学 文学部 美学美術史学科……………1 名

聖心女子大学 文学部 哲学科……………1 名

成城大学 文芸学部 芸術学科……………1 名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

当館主催「こども美術講座」(平成 29 年 4 月 16 日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展覧(平成 29 年 5 月 27 日・28 日、9 月 23 日・24 日、平成 30 年 1 月 27 日・28 日)、私立美術館会議幹事会(平成 29 年 7 月 11 日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(平成 29 年 9 月 5 日他)、ギャラリートーク(平成 29 年 4 月 6 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月 1～3 回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成 29 年 11 月 16 日～19 日、平成 30 年 3 月 15 日～18 日)、当館主催ミュージアム・コンサート(平成 29 年 7 月 6 日、9 月 21 日)、東京急行電鉄株式会社主催「とうきゅうキッズプログラム」(平成 29 年 12 月 17 日)、私立美術館会議分科会(平成 29 年 7 月 11 日)、茶の湯文化学会例会(平成 29 年 4 月 22 日他)、書芸文化院主催「平安書道研究会」(平成 29 年 9 月 10 日他)などに使用。

(3) 見晴荘(第二講堂)

当館主催「陶芸講座」(平成 29 年 5 月 27 日・28 日、9 月 23 日・24 日、平成 30 年 1 月 27 日・28 日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成 29 年 11 月 16 日～19 日、平成 30 年 3 月 15 日～18 日)、当館主催「体験講座〈雲紙料紙の制作〉」(平成 29 年 7 月 16 日・17 日)、その他一般の茶会の点心席などに使用。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成 29 年 11 月 16 日～19 日、平成 30 年 3 月 15 日～18 日)、「茶室特別公開」(平成 29 年 5 月 19 日、平成 30 年 2 月 1 日)、東京急行電鉄株式会社主催「とうきゅうキッズプログラム」(平成 29 年 12 月 17 日)、その他一般の茶会などに使用。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 全国美術館会議への参加(館長他 2 名、平成 29 年 5 月 25 日、26 日)。
- (2) ICOM 日本委員会への参加(館長、平成 29 年 5 月 26 日)。
- (3) 東京都博物館協議会総会、日本博物館協会東京支部総会への参加(館長、平成 29 年 6 月 28 日、平成 30 年 2 月 22 日)。
- (4) 全国博物館長会議への参加(館長他 1 名、平成 29 年 7 月 12 日)。
- (5) 私立美術館会議への参加(館長他 2 名、平成 29 年 10 月 13 日)。
- (6) 全国博物館大会への参加(館長他 4 名、平成 29 年 11 月 29 日～12 月 1 日)。
- (7) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣(東京国立博物館 3 回)。
- (8) 美術資料買取協議会へ学芸員を派遣(東京国立博物館 2 回、九州国立博物館 4 回)。
- (9) 国立文化財機構の依頼により、外部評価委員会委員に学芸員を登録、会議に参加(平成 29 年 5 月 30 日)。
- (10) 文化庁の依頼により、芸術選奨選考審査員に学芸員を登録、会議に参加(平成 29 年 12 月 20 日、平成 30 年 1 月 16 日)。
- (11) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成 29 年 11 月 2 日、5 日)。
- (12) 東京学芸大学の依頼により、副館長を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (13) 東京藝術大学の依頼により、副館長を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (14) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (15) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。

- (16) 武蔵野美術大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (17) 國學院大学の依頼により、学芸員を書道史の非常勤講師として派遣。
- (18) 東京工芸大学の依頼により、学芸員を博物館実習の特別講師として派遣。
- (19) 徳島県文化振興財団の依頼により、副館長を講座講師として派遣。
- (20) 大和文華館の依頼により、副館長を講座講師として派遣。
- (21) 第 30 回東京都高等学校文化連盟書道部門書道展審査に副館長を派遣(平成 29 年 11 月 28 日)。
- (22) 大阪歴史博物館の依頼により、学芸員を客員研究員として資料検討会及び共同研究の中間報告会のため派遣(平成 29 年 12 月 9～10 日)。
- (23) 文化庁の依頼により、登録美術品事前調査に副館長を派遣(平成 30 年 3 月 28 日)。
- (24) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を科学研究費助成事業(課題番号 15H05150)における調査・会議へ派遣(平成 29 年 5 月 13、14 日)、及び報告書執筆などに協力。
- (25) 大谷大学真宗総合研究所の依頼により、学芸員を調査に派遣(平成 30 年 1 月 22 日、23 日)。
- (26) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事会に出席(平成 29 年 5 月 31 日、平成 30 年 3 月 22 日)。
- (27) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員会に出席(平成 29 年 6 月 15 日)。
- (28) 公益財団法人小堀遠州顕彰会理事会に出席(平成 30 年 2 月 16 日)。
- (29) 一般社団法人書芸文化院の理事会に出席(平成 29 年 5 月 14 日、12 月 10 日、平成 30 年 3 月 11 日)、および総会(平成 29 年 5 月 14 日、平成 30 年 3 月 11 日)に出席。
- (30) 一般財団法人イセ文化財団他主催「第 19 回ハッピーイースター卵あそびコンテスト」審査委員として学芸員を派遣(平成 29 年 8 月 1 日)。
- (31) 日本博物館協会の依頼により、「美術品取梱包輸送技能取得士認定制度に関する委員会」会議(平成 29 年 4 月 13 日、10 月 4 日)に参加、および同試験(平成 29 年 8 月 5 日、平成 30 年 2 月 17 日、18 日)に協力。
- (32) 公益財団法人せたがや文化財団の理事会に出席(平成 29 年 7 月 27 日、平成 30 年 1 月 16 日、2 月 20 日)。

(33)第64回日本伝統工芸展(全国11都市にて開催:会期 平成29年9月～平成30年3月)奨励賞に協賛。

(34)世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

(1)美術史学会大会にて、研究成果を発表(平成29年5月21日)。

(2)甲州市主催「古代史しんぼじうむ 和歌刻書土器の発見」にて、パネリストとして登壇(平成29年9月3日)。

(3)茶の湯文化学会東京例会にて、研究成果を発表(平成29年10月28日)。

(4)東京大学東洋文化研究所主催シンポジウム「明末清初 都市と美術」にて、研究成果を発表(平成29年11月13日)。

(5)日本博物館協会、美術史学会、書学書道史学会、全国博物館学会、茶の湯文化学会、中国文化学会、全国美術館会議、全国博物館長会議、私立美術館会議(以上大会出席)、東洋陶磁学会(常任委員会出席)。

(6)日本貿易陶磁研究会研究集会、源氏絵データベース研究会、茶書研究会、書論研究会、近代金石研究会、日本書道史研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行なった。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。
- (4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行った。平成 29 年度は、『大般若波羅蜜多經』等を撮影した。

2. 図書修理

- (1) 『大毗盧遮那經疏』卷第十六・十七(寛治二年写・築島裕氏寄贈)の二帖を修理、継続中である。本資料に関する平成 29 年度の修理費は 444,636 円である。

3. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
「賀茂別雷神社三手文庫 今井似閑書籍奉納目録」(皇学館大学神道研究所、1984 年刊)を購入した。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

4. 図書調査

- ・国文学研究資料館の依頼により、瑞光寺(京都市)、最明寺(神奈川県足柄上郡)、三重県立美術館(津市)、本居宣長記念館(松阪市)、金城学院大学図書館(名古屋市)、藤園堂文庫(名古屋市)の資料調査を行なった。

5. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		26	22	22	26	5	26	22	26	17	23	20	23	258 日
閲覧者数		8	3	11	10	3	8	13	11	14	12	14	12	119 人
閲覧図書	国書	4	9	13	19	4	21	26	8	37	53	41	38	273 点
	漢籍	21	0	1	13	4	1	9	2	10	6	0	0	67 点
	仏書	2	1	3	7	0	1	5	9	3	0	3	7	41 点
	その他	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4 点
計		28	10	18	39	10	23	40	19	50	59	44	45	385 点

(2) 団体閲覧

- ・4 月 延慶本平家物語研究会(1 点／於閲覧室) 6 名

- ・10 月 慶應義塾大学院生ほか(48 点／於集会室)……………8 名

6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第 48 号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)継続刊行中。
平成 29 年度は別巻4『集古筆翰』(第 28 回配本)を刊行した。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(丸善雄松堂)

7. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『漢文訓讀史の研究Ⅱ』同 VII』各 1 冊(小林芳規氏)
- ・『東京市史稿 産業篇 第五十八』1 冊(東京都公文書館)
- ・『皇室制度史料 儀制 立太子2』1 冊(宮内庁書陵部)
- ・『磧砂版大蔵經目録 第二冊』同 第三冊』各 1 冊(杏雨書屋)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

・各種団体

足利学校全国論語研究会、江沼地方史研究会、帝塚山大学考古学研究所、東京大学出版会、仏教美術研究上野記念財団、八幡市松花堂美術館等

・出版社等

おうふう、笠間書院、汲古書院、書芸文化新社、勉誠出版、法藏館、山川出版社、臨川書店等

・個人

研究者等 5 名

8. 展示

(1) 他所への貸出

- ・サントリー美術館……………「禁裡御蔵書目録」／計 1 点
「絵巻マニア列伝」(期間＝平成 29 年 3 月 29 日～5 月 14 日)
- ・奈良国立博物館……………「白描執金剛神像 玄証本」／計 1 点
特別展「快慶」(期間＝平成 29 年 4 月 8 日～6 月 4 日)

- ・山口県立萩美術館・浦上記念館 ……「芥子園画伝」・「肘下選蟻」・「絵本荒獅山」／計 3 点
特別展「プリティー♡プリント 江戸の花鳥版画展」(期間＝平成 29 年 9 月 16 日～10 月 22 日)
- ・和泉市久保惣記念美術館 ……重要文化財「寒山図」／計 1 点
特別展「ピカソと日本美術―線描の魅力―」(期間＝平成 29 年 10 月 15 日～12 月 3 日)
- ・京都国立博物館 ……国宝「六祖挾担図」／計 1 点
特別展「国宝」(期間＝平成 29 年 10 月 3 日～11 月 26 日)

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展―歌仙と歌枕―
……重要文化財「公忠朝臣集」・「五首切 伝西行筆」・「奥儀抄」・「源氏小鏡」ほか／計 11 点
- ・[館蔵]夏の優品展―料紙のよそおい―
……重要文化財「手鑑」・「大聖武 賢愚経断簡」・「門 夏目漱石原稿」ほか／計 17 点
- ・[館蔵]秋の優品展―大般若経と禅宗―
……国宝「白描絵料紙理趣経(目無経)」・重要文化財「寒山図」・「図像抄」ほか／計 16 点
- ・[特別展]光彩の巧み―瑠璃・玻璃・七宝―
……「君台観左右帳記」・「御飾棚之記」／計 2 点
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
……「豊臣秀吉消息 お祢宛」・「武野宗瓦消息」・「茶室起絵図」／計 3 点

9. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として国文学関係資料の調査に協力した。

貸借対照表

2018年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	72,545,778	90,255,854	△ 17,710,076
未 収 金	3,134,240	2,578,973	555,267
前 払 金	2,385,051	3,922,931	△ 1,537,880
棚 卸 資 産	23,673,665	29,527,765	△ 5,854,100
有 価 証 券	7,764,596	7,764,596	0
仮 払 金	0	6,934	△ 6,934
流動資産合計	109,503,330	134,057,053	△ 24,553,723
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建 物	1,357,957,483	1,419,489,556	△ 61,532,073
立 木	1,000,000	1,000,000	0
美 術 品	1,134,631,000	1,134,631,000	0
古 典 籍	133,255,570	133,255,570	0
什 器 備 品	2,744,002	3,332,002	△ 588,000
投 資 有 価 証 券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,497,632,680	4,559,752,753	△ 62,120,073
(2) 特定資産			
積 立 預 金	96,000,000	96,000,000	0
特定資産合計	96,000,000	96,000,000	0
(3) その他固定資産			
美 術 品	194,929,325	194,929,325	0
什 器 備 品	10,461,558	8,435,840	2,025,718
保 証 金	50,000	0	50,000
その他固定資産合計	205,440,883	203,365,165	2,075,718
固定資産合計	4,799,073,563	4,859,117,918	△ 60,044,355
資産合計	4,908,576,893	4,993,174,971	△ 84,598,078
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	7,301,035	9,889,431	△ 2,588,396
前 受 金	6,575,000	6,922,850	△ 347,850
預 り 金	1,897,176	2,006,104	△ 108,928
流動負債合計	15,773,211	18,818,385	△ 3,045,174
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	17,080,202	15,929,950	1,150,252
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	0	6,500,000	△ 6,500,000
固定負債合計	17,080,202	22,429,950	△ 5,349,748
負債合計	32,853,413	41,248,335	△ 8,394,922
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,862,529,621	3,924,061,694	△ 61,532,073
(うち基本財産への充当額)	(3,766,529,621)	(3,828,061,694)	(△ 61,532,073)
(うち特定資産への充当額)	(96,000,000)	(96,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(1,013,193,859)	(1,027,864,942)	(△ 14,671,083)
(うち特定資産への充当額)	(731,103,059)	(731,691,059)	(△ 588,000)
正味財産合計	4,875,723,480	4,951,926,636	△ 76,203,156
負債及び正味財産合計	4,908,576,893	4,993,174,971	△ 84,598,078

財産目録

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金	現金	手元保管	運転資金	2,870,323
	預金	普通預金	運転資金	7,812,752
		みずほ上野毛①		4,575,106
		みずほ上野毛②		349,460
		みずほ上野毛③		1,007,204
		三菱東京UFJ玉川①		1,880,982
		定期預金	運転資金	61,862,703
		三菱東京UFJ②定期		61,862,703
	未収金		売掛金	3,134,240
	前払金		次年度展覧会準備費用	2,385,051
	棚卸資産		図録・ショップ商品	23,673,665
	有価証券			7,764,596
	立替金			0
	仮払金			0
流動資産合計				109,503,330
(固定資産)				
基本財産				
土地	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,497,632,680
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的的事业及び管理運営の用に供している。	1,139,685,568
	建物			1,357,957,483
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的的事业及び管理運営の用に供している。	1,357,957,483
	立木			1,000,000
	立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的的事业の用に供している。	1,000,000
	美術品			1,134,631,000
	美術品(指定)	美術工芸品 2,617件	公益目的保有財産であり、公的的事业の用に供している。	1,134,631,000
	古典籍			133,255,570
	古典籍(指定)	古典籍 21,839冊	公益目的保有財産であり、公的的事业の用に供している。	133,255,570
	什器備品			2,744,002
	什器備品(一般)	展示用備品・収蔵棚	公益目的保有財産であり、公的的事业及び管理運営の用に供している。	2,744,002
	投資有価証券			728,359,057
	投資有価証券(一般)	国債・地方債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公益目的の事業の財源としている。	728,359,057
特定資産				
積立預金	積立預金			96,000,000
	積立預金(指定)	三菱東京UFJ銀行・みずほ銀行	公的的事业及び管理運営のための資産である。	96,000,000
その他固定資産				205,440,883
美術品	美術品	美術工芸品	公益目的保有財産であり、公的的事业の用に供している。	194,929,325
	什器備品	パソコン・事務機器・ソフトウェア	公益目的保有財産であり、公的的事业及び管理運営の用に供している。	10,461,558
保証金	保証金	出資金		50,000
固定資産合計				4,799,073,563
資産合計				4,908,576,893
(流動負債)				
未払金 前受金 預り金	未払金		買掛金	7,301,035
	前受金		次年度茶の友会会費	6,575,000
	預り金		社会保険料	1,897,176
流動負債合計				15,773,211
(固定負債)				
退職給付引当金	退職給付引当金		公的的事业及び管理運営に従事する職員の退職給付引当金	17,080,202
固定負債合計				17,080,202
負債合計				32,853,413
正味財産				4,875,723,480

予算対比正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[11,308,535]	[221,465]
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
公益事業収益	[134,131,000]	[128,709,236]	[5,421,764]
受取寄付金	[200,719,000]	[200,694,795]	[24,205]
雑収	[70,000]	[330,265]	[△ 260,265]
経常収益計	346,460,000	341,042,831	5,417,169
(2) 経常費用			
事業費	[322,327,000]	[314,750,955]	[7,576,045]
管理費	[24,850,000]	[29,681,429]	[△ 4,831,429]
経常費用計	347,177,000	344,432,384	2,744,616
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 717,000	△ 3,389,553	2,672,553
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 717,000	△ 3,389,553	2,672,553
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度棚卸資産修正損	[0]	[4,118,808]	[△ 4,118,808]
指定正味財産へ振替	[15,000,000]	[7,162,722]	[7,837,278]
経常外費用計	15,000,000	11,281,530	3,718,470
当期経常外増減額	△ 15,000,000	△ 11,281,530	△ 3,718,470
当期一般正味財産増減額	△ 15,717,000	△ 14,671,083	△ 1,045,917
一般正味財産期首残高	1,027,864,942	1,027,864,942	0
一般正味財産期末残高	1,012,147,942	1,013,193,859	△ 1,045,917
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額	[15,000,000]	[7,162,722]	[7,837,278]
一般正味財産への振替額	[△ 68,719,000]	[△ 68,694,795]	[△ 24,205]
当期指定正味財産増減額	△ 53,719,000	△ 61,532,073	7,813,073
指定正味財産期首残高	3,924,061,694	3,924,061,694	0
指定正味財産期末残高	3,870,342,694	3,862,529,621	7,813,073
III 正味財産期末残高	4,882,490,636	4,875,723,480	6,767,156

予算対比正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[11,308,535]	[221,465]
基本財産受取利息	9,426,000	9,024,891	401,109
基本財産受取配当	2,104,000	2,283,644	△ 179,644
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
特定資産受取利息	10,000	0	10,000
公益事業収益	[134,131,000]	[128,709,236]	[5,421,764]
展示事業収益	54,250,000	51,402,154	2,847,846
調査研究事業収益	7,910,000	8,466,769	△ 556,769
普及事業収益	20,500,000	18,900,500	1,599,500
文庫事業収益	1,700,000	875,763	824,237
力レンダ一収益	39,671,000	38,962,531	708,469
売店収益	10,100,000	10,101,519	△ 1,519
受取寄付金	[200,719,000]	[200,694,795]	[24,205]
受取寄付金	132,000,000	132,000,000	0
受取寄付金振替額	68,719,000	68,694,795	24,205
雑収益	[70,000]	[330,265]	[△ 260,265]
受取利息	50,000	6,909	43,091
有価証券運用益	10,000	0	10,000
雑収益	10,000	323,356	△ 313,356
経常収益計	346,460,000	341,042,831	5,417,169
(2) 経常費用			
事業費	[322,327,000]	[314,750,955]	[7,576,045]
役員報酬	22,275,000	10,202,731	12,072,269
給料	80,448,000	80,340,943	107,057
臨時雇賃金	9,300,000	10,718,620	△ 1,418,620
退職給付費用	1,202,000	1,115,744	86,256
福利厚生費	15,505,000	14,424,028	1,080,972
会議費	340,000	48,500	291,500
旅交費	200,000	564,743	△ 364,743
交通費	100,000	73,545	26,455
通減価償却費	5,060,000	3,968,958	1,091,042
消耗什器備品費	67,459,000	68,652,811	△ 1,193,811
消耗什器備品費	997,000	1,280,531	△ 283,531
消耗什器備品費	925,000	907,916	17,084
修理費	5,000,000	5,778,712	△ 778,712
修理費	5,150,000	3,664,784	1,485,216
印刷製本費	13,439,000	10,348,718	3,090,282
宣伝水料	6,100,000	5,988,753	111,247
光熱費	7,225,000	6,860,751	364,249
保険料	864,000	828,000	36,000
諸謝金	150,000	0	150,000
租税公課	4,520,000	4,069,900	450,100
庭園管理費	5,000,000	4,035,828	964,172
委託費	13,352,000	12,857,800	494,200
展覧会費	11,230,000	15,874,566	△ 4,644,566
催物費	14,850,000	15,531,632	△ 681,632
調査研究費	5,800,000	10,042,223	△ 4,242,223
雑力レンダ一制作費	1,110,000	952,245	157,755
雑力レンダ一制作費	17,800,000	18,586,762	△ 786,762

科 目					予算額	決算額	差 異
シ	ヨ	ッ	プ	原 価	6,926,000	7,031,211	△ 105,211
管		理		費	[24,850,000]	[29,681,429]	[△ 4,831,429]
役		員	報	酬	11,482,000	6,801,821	4,680,179
給		料	手	当	5,490,000	14,845,853	△ 9,355,853
退	職	給	付	用	28,000	34,508	△ 6,508
福	利	厚	生	費	995,000	1,710,232	△ 715,232
会		議		費	310,000	234,059	75,941
旅	費	交	通	費	110,000	0	110,000
交		際		費	210,000	199,017	10,983
通	信	運	搬	費	408,000	210,515	197,485
減	価	償	却	費	3,560,000	3,613,306	△ 53,306
消	耗	什	備	品	53,000	0	53,000
消		耗	品	費	105,000	6,026	98,974
印	刷	製	本	費	64,000	0	64,000
光	熱	水	料	費	375,000	356,752	18,248
諸		謝		金	1,450,000	1,592,040	△ 142,040
雑				費	210,000	77,300	132,700
経常費用計					347,177,000	344,432,384	2,744,616
評価損益等調整前当期経常増減額					△ 717,000	△ 3,389,553	2,672,553
損益評価等計					0	0	0
当期経常増減額					△ 717,000	△ 3,389,553	2,672,553
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計					0	0	0
(2) 経常外費用							
過 年 度 棚 卸 資 産 修 正 損					[0]	[4,118,808]	[△ 4,118,808]
指 定 正 味 財 産 へ 振 替					[15,000,000]	[7,162,722]	[7,837,278]
受 取 寄 付 金 振 替 額					15,000,000	7,162,722	7,837,278
経常外費用計					15,000,000	11,281,530	3,718,470
当期経常外増減額					△ 15,000,000	△ 11,281,530	△ 3,718,470
当期一般正味財産増減額					△ 15,717,000	△ 14,671,083	△ 1,045,917
一般正味財産期首残高					1,027,864,942	1,027,864,942	0
一般正味財産期末残高					1,012,147,942	1,013,193,859	△ 1,045,917
II 指定正味財産増減の部							
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額					[15,000,000]	[7,162,722]	[7,837,278]
受 取 寄 付 金 振 替 額					15,000,000	7,162,722	7,837,278
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額					[△ 68,719,000]	[△ 68,694,795]	[△ 24,205]
受 取 寄 付 金					△ 68,719,000	△ 68,694,795	△ 24,205
当期指定正味財産増減額					△ 53,719,000	△ 61,532,073	7,813,073
指定正味財産期首残高					3,924,061,694	3,924,061,694	0
指定正味財産期末残高					3,870,342,694	3,862,529,621	7,813,073
III 正味財産期末残高					4,882,490,636	4,875,723,480	6,767,156

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

科 目		公益事業会計				法人会計	合 計
		美術館	文庫	公益共通事業	小 計	法人	
I	一般正味財産増減の部						
1.	経常増減の部						
(1)	経常収益						
	基本財産	0	0	11,308,535	11,308,535	0	11,308,535
	基金	0	0	9,024,891	9,024,891	0	9,024,891
	公 益	0	0	2,283,644	2,283,644	0	2,283,644
	展開調査力売	127,833,473	875,763	0	128,709,236	0	128,709,236
	受取利息	51,402,154	0	0	51,402,154	0	51,402,154
	受取配当金	8,466,769	0	0	8,466,769	0	8,466,769
	受取事業収入	18,900,500	0	0	18,900,500	0	18,900,500
	受取事業収入	38,962,531	875,763	0	39,838,294	0	39,838,294
	受取事業収入	10,101,519	0	0	10,101,519	0	10,101,519
	受取事業収入	0	0	170,260,055	170,260,055	30,434,740	200,694,795
	受取事業収入	0	0	105,000,000	105,000,000	27,000,000	132,000,000
	受取事業収入	151,161	74,896	65,260,055	65,260,055	3,434,740	68,694,795
	受取事業収入	0	0	104,208	104,208	0	104,208
	受取事業収入	0	0	6,909	6,909	0	6,909
	受取事業収入	151,161	74,896	97,299	323,356	0	323,356
	経常収益計	127,984,634	950,659	181,672,798	310,608,091	30,434,740	341,042,831
(2)	経常費用						
	役員報酬	296,270,059	18,480,896	0	314,750,955	0	314,750,955
	給料	10,202,731	0	0	10,202,731	0	10,202,731
	退職金	70,254,114	10,086,829	0	80,340,943	0	80,340,943
	福利厚生	10,672,017	46,603	0	10,718,620	0	10,718,620
	社会保険料	931,704	184,040	0	1,115,744	0	1,115,744
	経費	12,407,245	2,016,783	0	14,424,028	0	14,424,028
	消耗品	45,000	3,500	0	48,500	0	48,500
	備品	584,743	0	0	584,743	0	584,743
	雑費	73,545	0	0	73,545	0	73,545
	賃借料	3,858,959	109,999	0	3,968,958	0	3,968,958
	通信費	65,039,505	3,613,306	0	68,652,811	0	68,652,811
	什物	1,237,911	43,520	0	1,280,531	0	1,280,531
	燃料	906,109	1,807	0	907,916	0	907,916
	印刷費	5,778,712	0	0	5,778,712	0	5,778,712
	広告費	3,220,148	444,636	0	3,664,784	0	3,664,784
	宣伝費	9,471,378	877,340	0	10,348,718	0	10,348,718
	税金	5,956,893	31,860	0	5,988,753	0	5,988,753
	租税	6,503,999	356,752	0	6,860,751	0	6,860,751
	公 費	828,000	0	0	828,000	0	828,000
	委託料	4,041,439	28,461	0	4,069,900	0	4,069,900
	研究費	4,035,828	0	0	4,035,828	0	4,035,828
	会議費	12,857,800	0	0	12,857,800	0	12,857,800
	旅費	15,874,566	0	0	15,874,566	0	15,874,566
	雑費	15,531,632	0	0	15,531,632	0	15,531,632
	製作費	9,415,763	626,460	0	10,042,223	0	10,042,223

正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	[11,308,535]	[11,488,269]	[△ 179,734]
公 益 事 業 収 益	[128,709,236]	[136,098,289]	[△ 7,389,053]
受 取 寄 付 金	[200,694,795]	[193,977,325]	[6,717,470]
雑 収 益	[330,265]	[123,343]	[206,922]
経常収益計	341,042,831	341,687,226	△ 644,395
(2) 経常費用			
事 業 費	[314,750,955]	[306,845,769]	[7,905,186]
管 理 費	[29,681,429]	[34,624,057]	[△ 4,942,628]
経常費用計	344,432,384	341,469,826	2,962,558
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,389,553	217,400	△ 3,606,953
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,389,553	217,400	△ 3,606,953
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過 年 度 棚 卸 資 産 修 正 損	[4,118,808]	[0]	[4,118,808]
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[7,162,722]	[24,386,400]	[△ 17,223,678]
経常外費用計	11,281,530	24,386,400	△ 13,104,870
当期経常外増減額	△ 11,281,530	△ 24,386,400	13,104,870
当期一般正味財産増減額	△ 14,671,083	△ 24,169,000	9,497,917
一般正味財産期首残高	1,027,864,942	1,052,033,942	△ 24,169,000
一般正味財産期末残高	1,013,193,859	1,027,864,942	△ 14,671,083
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[39,010,000]	[△ 39,010,000]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[7,162,722]	[24,386,400]	[△ 17,223,678]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 68,694,795]	[△ 67,597,325]	[△ 1,097,470]
当期指定正味財産増減額	△ 61,532,073	△ 4,200,925	△ 57,331,148
指定正味財産期首残高	3,924,061,694	3,928,262,619	△ 4,200,925
指定正味財産期末残高	3,862,529,621	3,924,061,694	△ 61,532,073
III 正味財産期末残高	4,875,723,480	4,951,926,636	△ 76,203,156

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,419,489,556	7,162,722	68,694,795	1,357,957,483
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,631,000			1,134,631,000
古典籍	133,255,570			133,255,570
什器備品	3,332,002		588,000	2,744,002
投資有価証券	728,359,057			728,359,057
小計	4,559,752,753	7,162,722	69,282,795	4,497,632,680
(特定資産)				
積立預金	96,000,000			96,000,000
小計	96,000,000	0	0	96,000,000
合計	4,655,752,753	7,162,722	69,282,795	4,593,632,680

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,357,957,483	1,357,957,483		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000		
古典籍	133,255,570	133,255,570		
什器備品	2,744,002		2,744,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,497,632,680	3,766,529,621	731,103,059	0
(特定資産)				
積立預金	96,000,000	96,000,000		
小計	96,000,000	96,000,000	0	0
合計	4,593,632,680	3,862,529,621	731,103,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,436,149,800	1,078,192,317	1,357,957,483
什器備品(基本財産)	42,126,653	39,382,651	2,744,002
什器備品(その他固定資産)	81,199,190	70,737,632	10,461,558
合計	2,559,475,643	1,188,312,600	1,371,163,043

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	7,764,596	8,087,765	323,169
投資有価証券	728,359,057	971,964,795	243,605,738
合計	736,123,653	980,052,560	243,928,907

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	15,929,950	1,150,252	0	0	17,080,202

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	68,694,795
合計	68,694,795

8. その他

(1)金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、株式(出損された基本財産)により資産運用する。なお、テリバディブ取引は行わない方針である。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされているが、当法人は国債等政府保証債を中心に運用し、リスクにさらされないように努めている。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

平成30年 5月23日

監 査 報 告 書

私たち監事は、平成29年度における公益財団法人五島美術館の業務執行状況、及び会計帳簿並びにこれに関する資料に付き監査いたしました。

その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表及びその付属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監事 三本繁光 

監事 秋元直久 